

木を植えた男

たかはしべんコンサート

「このお話を語ってください。
べんさんならできます。」

歌い続けて41年、新たな挑戦です。

『木を植えた男』の著作権を放棄した著者ジャン・ジオノ。

著者もまた、木を植えた男です。

私たちは、子どもの幸せのために生きる

「輝く笑顔のお母さんたち」を知っています。

厳しい世の中でも、希望を失わず未来を信じて、

惜しみなく子ども心に「**しあわせの種**」を蒔きつつける、

それこそ「木を植えた人」たちです。

たかはしべんの歌と語りで。

「しあわせの種」

詞/曲 たかはしべん

ほくらは 誰かを笑うために
生まれて きたんじゃない
みんなと一緒に 笑いあうために
生まれて きたんだ

ほくらは 誰かを 嫌うために
生まれてきたんじゃない
あなたを 好きになるために
生まれて きたんだ

種をまこう しあわせの種を
いつの日か きっと 美しい花が
いつの日か きっと 美しい花が



木を植えたべんさん

音楽活動42年、5000回を超えるコンサート。

その間、素晴らしい人たちと出会ってきました。

自分を顧みず、困っている人たちに心を寄せ、共に生きる人たち。

子どもたちに生きる力を!と生の舞台をおくりつつける人たち。

名も知れぬ多くの「偉人たち」との出会いに心を動かされてきました。

いま植えた木が、50年後、100年後に、大きく枝を広げるだろう、信じています。

そうした人々の「目に見えない努力」を「目に見えるようにしていく」。

それが、この「木を植えた男」のコンサートの願いです。

わたくしも、「木を植えたひと」の一人になればと。